

凡例
時日時
場所
集合
対象
定員
費用
内容
講師
保一時保育
締切日
申込み
問合先
HP
ホームページ
Eメール

お知らせ

点字版資源回収・ごみ収集日一覧の送付希望者募集

視覚障害者の方で希望される方に令和3年度版資源回収・ごみ収集日一覧の点字版を送付します。発送は3月下旬の予定です。申し込まれた方には来年度以降も継続して送付します
【締】1/29(金) 【申】電話またはファクスに郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、清掃事務所へ☎3644-6216、FAX3699-9520

後期高齢者医療保険料の納付書を発送

後期高齢者医療保険料の1月期～3月期分の納付書を、1月中旬に発送します。なお、口座振替を登録している方や特別徴収(年金からのお支払い)に該当している方には発送しません。保険料の納付期限は各月末日です。納め忘れのないようお願いします
【問】医療保険課資格課係☎3647-8520、FAX3647-8443

「健康長寿 お口の元気度チェック」の受診を 2/20(土)まで

区では、後期高齢者医療制度に加入する76・81・86歳の方を対象に、口腔機能の低下予防、肺炎等の疾病予防を図るため、お口の元気度チェックを実施しています。対象の方には、8月下旬にうぐいす色の封筒で無料券を郵送しています。なくした方は再発行ができますのでご連絡ください。無料で受診できますので、ぜひ受診してください
【時】2/20(土)まで
【入】後期高齢者医療制度に加入する76・81・86歳の方(令和3年3/31現在) 【費】無料
【内】口腔内診査、口腔機能評価【受診方法】無料券同封の区内実施医療機関名簿から受診する医療機関を選んで予約のうえ、無料券と保険証を持参し受診※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受診時にはマスクの着用をお願いします。また、受診前に自宅等で体温測定を行い発熱や咳などの症状がある場合は、受診をお控えください
【問】【事業に関すること】医療保険課医療保健係☎3647-8516、FAX3647-8443【無料券の再発行、受診方法に関すること】保健所健康推進課健康づくり係☎3647-9487、FAX3615-7171

男女共同参画審議会 傍聴できます

【時】1/25(月)10:00～【場】男女共同参画推進センター第1・2研修室(扇

橋3-22-2パルシティ江東)※休館日になりますが、駐車場側の通用口よりお入りください
【入】5人(区民の方を優先し、抽選) 【申】当日9:45までに直接会場へ
【問】男女共同参画推進センター男女共同参画担当☎3647-1163、FAX5683-0340

司法書士による法律(登記等)相談(2月)

【時】2/3(水)・17(水)※いずれも14:00～16:00
【場】区役所7階第74会議室
【入】20人(申込順)※予約状況により当日受付可
【費】無料
【内】相続・遺言(登記等)、贈与、成年後見、不動産登記、株式会社等の設立・役員変更、金銭問題等
【申】1/15(金)8:30から区役所広報広聴課広聴相談係(2階22番)に電話または窓口で☎3647-4700、FAX3647-9635

講座・催しもの

天体観望会「すばる」

【時】2/6(土)19:30～20:30(別途集合時間を指定)
【場】大島第二児童館(大島4-5-1総合区民センター5階)
【入】区内在住の方30人(抽選、結果は当選者にのみ1/22(金)午前に連絡)※小学生以下は保護者の申込と当日の付添が必要
【費】無料
【内】講師による解説後、屋上に移動して望遠鏡で観測。見終えた順に流れ解散
【師】有賀真由美・山内康晃
【締】1/20(水) 【申】大島第二児童館に電話または窓口で☎・FAX3637-2595(日・月曜、祝日を除く)※雨天中止。集合後、気象状況により観測できなくなった場合はプログラム変更あり

深川東京モダン館 おきがる講座、嘸+話

1. おきがる講座
コーヒーやお茶を飲みながら区の歴史を学ぶ講座です
【時】1/19(火)14:00～15:30
【入】20人(申込順) 【費】500円(ドリンク代込)
【内】明治江東人物伝②加瀬忠次郎とヨード製造
2. 嘸+話
【時】1/26(火)14:00～(開場13:30)
【入】20人(申込順) 【費】1,500円(ドリンク代込)
【内】おきがる講座と落語会モダン亭のコラボ【出演】林家あんど、龍澤潤
※いずれも【場】深川東京モダン館(門前仲町1-19-15) 【申】1/15(金)から電話で深川東京モダン館☎5639-1776、FAX5620-1632
【HP】https://fukagawatokyo.com

みんなのミュージカル ホンク! 出演者役者オーディション

アンデルセンの童話「みにくいアヒルの子」を元にした、「みんなのミュージカル ホンク!」の出演者を小学生から大人まで、広く募集します
【時】【第1次(実技)】3/13(土)【第2次(面接)】3/14(日)※1次合格者のみ
【入】4月～8月までの毎週日曜の稽古、および8/7(土)、集中稽古、舞台リハール、本番(8/21(土)、22(日))に参加できる小学生～大人
【費】参加費2,000円※合格後の稽古には別途費用がかかります
【締】2/21(日)必着
【申】各文化センターにある所定の申込書(ホームページ)【HP】https://www.kcf.or.jp/toyosu)からも入手可)に記入し、〒135-0061豊洲2-2-18豊洲文化センターに郵送、メールまたは窓口で☎3536-5061、FAX5560-0505
【E】toyosu_culture@kcf.or.jp

深川江戸資料館 伝統芸能公開「新春能楽初め」

地元在住の能楽師が、能の歴史や特色、見方や楽しみ方などをわかりやすくお話しします。能の世界を気軽に、身近に感じるひと時をどうぞお楽しみください
【時】1/17(日)14:00～14:30
【費】大人400円、小中学生50円(観覧料)※中学生以下の方は保護者同伴
【出演】桑田貴志(観世流能楽師) 【申】当日直接会場へ
【場】深川江戸資料館(白河1-3-28) ☎3630-8625、FAX3820-4379



▲桑田貴志(観世流能楽師) 江戸庶民の年中行事再現「初午飾り」

江戸時代末期の深川の町並みの中で当時の初午飾りを再現します。「地口行灯」で町中を飾り、稲荷社にお供えをし、祭りを楽しむ長屋のこどもたちの歓声が聞こえてきそうな初午の様子をお楽しみください
【時】1/15(金)～2/14(日)9:30～17:00(最終入館16:30) 【費】大人400円、小中学生50円(観覧料)※中学生以下の方は保護者同伴
【申】当日直接会場へ
【場】深川江戸資料館(白河1-3-

28) ☎3630-8625、FAX3820-4379



▲初午飾り ふかえどカレッジⅢ 「江戸の町と深川」

「ふかえどカレッジ」とは常設展示室観覧料で参加することができる大変お得な講演会です。今回は、江戸の町が成り立っていくなかで、深川地域がどのように発展していったのか、古地図や地誌、浮世絵などからその歴史をたどります
【時】2/11(木・祝)14:00～15:30
【場】深川江戸資料館レクホール(白河1-3-28) 【入】80人(申込順) 【費】400円(観覧料) 【師】久染建夫(江戸・東京郷土史研究者)
【申】1/15(金)から深川江戸資料館に電話または窓口で☎3630-8625、FAX3820-4379

芭蕉記念館 後期企画展 「季語～俳句を彩ることば」

「季語」をテーマに松尾芭蕉や、高浜虚子ら近代俳人の作品を展示します。俳句に欠かせない要素である季語は、四季折々の自然の変化が豊かな日本ならではの文学的表現です。本展では、俳句における季語とは何かを考えながら、松尾芭蕉や近代俳句の作品にあらわれる彩り豊かな季語の世界を収蔵資料とパネルで鑑賞します。また、浮世絵や暦など日本の四季に関わる資料も紹介します
【時】1/28(木)～4/25(日)9:30～17:00(最終入館16:30) 【費】大人200円、小・中学生50円(観覧料) 【申】当日直接会場へ
【後期企画展記念講演会「芭蕉歳時記～季節を追って」】日替わりで芭蕉の句を紹介していく「芭蕉の一句」の著者高柳克弘氏に、季節ごとの芭蕉の句を紹介、季節と芭蕉の関わり、芭蕉の季語の捉え方などをお話しいただきます
【時】2/23(火・祝)14:00～16:00
【入】40人(申込順) 【費】500円※講演会当日に限り、展示室を観覧できます
【師】高柳克弘(俳人・「鷹」編集長) 【申】1/15(金)から芭蕉記念館に電話または窓口で※いずれも【場】芭蕉記念館(常盤1-6-3) ☎3631-1448、FAX3634-0986

障害者の意思疎通手段5

失語症を知ろう

失語症とは
脳梗塞や脳出血などの脳血管障害や事故による頭部外傷などから、脳の言葉を担う場所が損傷を受けたことにより、起こる言葉の障害です。
「話す・聞く・読む・書く」といった言葉を使った働きの全てに症状が出るため、「言葉のわからない外国に放り出されたようなもの」と表現されることがあります。
失語症は外見からはわかりづらい障害のため、あまり馴染みがないと思いますが、このコラムで少しでも失語症について知っていただき、失語症に対する理解を深めていただければと思います。
障害者施策課推進係
☎(3647)4749
FAX(3699)0329

失語症の症状は、人によってさまざまのため、正解はありませんが、コミュニケーションをとる際には、以下の内容を意識してみてください。
①回りくどい表現やあいまいな言い方は避け、ゆっくり端的に話しましょう。相手が理解しているかを確認しながら会話を進めましょう。
②一度説明してもうまく伝わらないときは、ただ話すだけでなく、文字を見せたり、ジェスチャーを組み合わせた写真や実物を見せるなどして相手が理解しやすいように工夫しましょう。
③質問する際には、できるだけ「はい」「いいえ」で答えられるような質問をしましょう。
④失語症の人は言いたいことを言うまで時間がかかることが多いので、話を聞く際は、

